



平成30年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年10月12日

上場会社名 大黒天物産株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2791 URL http://www.e-dkt.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大賀 昭司
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営企画室長 (氏名) 川田 知博 TEL 086-435-1100
 四半期報告書提出予定日 平成29年10月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年5月期第1四半期の連結業績（平成29年6月1日～平成29年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年5月期第1四半期	40,503	6.0	1,222	△19.0	1,270	△17.3	705	△24.9
29年5月期第1四半期	38,212	7.8	1,507	25.6	1,536	26.7	940	18.2

(注) 包括利益 30年5月期第1四半期 771百万円 (△15.2%) 29年5月期第1四半期 909百万円 (11.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年5月期第1四半期	50.15	50.13
29年5月期第1四半期	66.94	66.85

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年5月期第1四半期	57,980	31,016	53.4
29年5月期	56,535	30,565	53.9

(参考) 自己資本 30年5月期第1四半期 30,940百万円 29年5月期 30,497百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年5月期	—	0.00	—	25.00	25.00
30年5月期	—				
30年5月期(予想)		0.00	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年5月期の連結業績予想（平成29年6月1日～平成30年5月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	78,680	3.9	2,985	3.8	3,063	4.5	1,779	1.8	126.47
通期	164,500	5.9	6,200	5.9	6,260	5.7	3,650	2.7	259.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成30年5月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、平成29年9月までに新株予約権が行使されており、これに伴う普通株式の増加4,900株を考慮して算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年5月期1Q	14,464,700株	29年5月期	14,460,600株
② 期末自己株式数	30年5月期1Q	389,480株	29年5月期	389,459株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年5月期1Q	14,073,356株	29年5月期1Q	14,041,740株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。尚、上記予想に関する事項は、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費の持ち直しの動きが続くなか、雇用・所得の改善により緩やかな回復基調となりましたが、中国をはじめとするアジア新興国の経済動向など、依然不透明な状況が続いております。

小売業界におきましては、業種・業態を超えた販売競争の激化やパート・アルバイトの採用難が深刻になるなど、大変厳しい状況で推移いたしました。

このような環境の中、当社グループでは食の安心・安全を確保するための品質・鮮度管理の徹底や、商品の販売価格を更に値下し、『大幅値下宣言』として唱えた販売戦略を実践してまいりました。成長戦略として、大阪府に1店舗の新規出店と、徳島県の既存店1店舗の建替え、生鮮食品部門を強化した改装を3店舗で実施いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は405億3百万円（前年同期比6.0%増）、経常利益は12億7千万円（前年同期比17.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億5百万円（前年同期比24.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、133億8千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億2千万円減少いたしました。

その主たる変動要因は、商品及び製品の増加（41億7千5百万円から43億4千4百万円へ1億6千8百万円増加）に対し、現金及び預金の減少（54億3千1百万円から53億2百万円へ1億2千8百万円減少）、その他の流動資産の減少（33億3千3百万円から31億2千1百万円へ2億1千2百万円減少）などによるものであります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、445億9千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億6千5百万円増加いたしました。

その主たる変動要因は、有形固定資産の増加（335億5千3百万円から350億3千3百万円へ14億7千9百万円増加）、投資その他の資産の増加（91億9千万円から93億9千3百万円へ2億2百万円増加）などによるものであります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、195億3千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億5千2百万円減少いたしました。

その主たる変動要因は、未払法人税等の減少（13億8千万円から5億3千7百万円へ8億4千2百万円減少）、賞与引当金の減少（3億3千万円から1億8千5百万円へ1億4千5百万円減少）に対し、支払手形及び買掛金の増加（101億6千9百万円から103億6千万円へ1億9千万円増加）、短期借入金の増加（20億6千8百万円から36億6千8百万円へ16億円増加）、その他の流動負債の増加（43億2千8百万円から47億7千8百万円へ4億4千9百万円増加）などによるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、74億3千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億5千7百万円減少いたしました。

その主たる変動要因は、長期借入金の減少（41億7千8百万円から38億8千9百万円へ2億8千9百万円減少）などによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、310億1千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億5千万円増加いたしました。

その主たる変動要因は、利益剰余金の増加（273億5百万円から276億7千1百万円へ3億6千5百万円増加）などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年5月期の第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、概ね計画どおりに推移しており、連結、個別ともに平成29年7月13日公表の業績予想に変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,431	5,302
受取手形及び売掛金	78	90
商品及び製品	4,175	4,344
仕掛品	214	173
原材料及び貯蔵品	373	354
その他	3,333	3,121
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	13,606	13,386
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,979	21,685
土地	6,336	6,480
その他（純額）	6,236	6,866
有形固定資産合計	33,553	35,033
無形固定資産	184	167
投資その他の資産		
建設協力金	1,735	1,730
差入保証金	3,598	3,648
その他	3,915	4,071
貸倒引当金	△57	△57
投資その他の資産合計	9,190	9,393
固定資産合計	42,928	44,593
資産合計	56,535	57,980

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,169	10,360
短期借入金	2,068	3,668
未払法人税等	1,380	537
賞与引当金	330	185
資産除去債務	2	2
その他	4,328	4,778
流動負債合計	18,280	19,532
固定負債		
長期借入金	4,178	3,889
退職給付に係る負債	16	15
資産除去債務	1,799	1,850
その他	1,694	1,675
固定負債合計	7,689	7,431
負債合計	25,969	26,964
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,640	1,646
資本剰余金	1,801	1,808
利益剰余金	27,305	27,671
自己株式	△313	△313
株主資本合計	30,434	30,813
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	62	126
その他の包括利益累計額合計	62	126
新株予約権	7	8
非支配株主持分	61	67
純資産合計	30,565	31,016
負債純資産合計	56,535	57,980

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年8月31日)
売上高	38,212	40,503
売上原価	29,354	31,180
売上総利益	8,857	9,323
販売費及び一般管理費	7,349	8,101
営業利益	1,507	1,222
営業外収益		
受取利息	7	7
受取配当金	4	4
受取賃貸料	4	4
受取手数料	0	18
その他	17	18
営業外収益合計	34	53
営業外費用		
支払利息	5	5
その他	0	0
営業外費用合計	5	5
経常利益	1,536	1,270
税金等調整前四半期純利益	1,536	1,270
法人税、住民税及び事業税	507	496
法人税等調整額	87	65
法人税等合計	594	562
四半期純利益	941	707
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	940	705

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年8月31日)
四半期純利益	941	707
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32	63
その他の包括利益合計	△32	63
四半期包括利益	909	771
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	907	769
非支配株主に係る四半期包括利益	1	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。